

テニスの強豪校 “幸福” 6冠達成！

栃木県北部支部高校総体テニス大会

梅雨もあけ、夏本番となった7月22・23日、栃木県北部地区総合体育大会のテニス競技が、那須野が原公園で行われました。学校によっては、この大会で3年生が現役を引退するところもあり、高校生活最後のいろいろな思いをこめて戦う大会でもあります。わが幸福の科学学園チームは、男女ともに、1・2年生だけのチームですが、厳しい戦いを乗り越えて、6種別（男子団体・シングルス・ダブルス、女子団体・シングルス・ダブルス）すべてで優勝し、久しぶりの“6冠”を達成しました。



男子では、シングルスで幸福の科学学園どうしの決勝となり、大嶋祥史君（2年生）が、友寄智開君（1年生）をやぶり、優勝しました。ダブルスでは、大嶋・友寄ペアが、大田原高校ペアを破り、優勝しました。最後に行われた団体戦では、準決勝で、矢板高校を②-0で破り、決勝でも大田原高校を②-0で破り、優勝しました。

女子は、シングルスで瀬古真理愛さん（2年生）が、決勝で高根沢高校の3年生を破り、優勝しました。ダブルスでは、瀬古真理愛・嶋田愛ペアが、高根沢高校ペアを破り、優勝しました。団体戦では、準決勝で、黒羽高校を②-0で破り、決勝では烏山高校を③-0で破って、春季大会に続いての連覇となりました。



この後、高校テニス部は、7月下旬の「県1年生大会」や「リーダー講習会」に参加し、夏休み後半には、長野県で「強化合宿」、山梨県での「グレープカップ」など、実力を向上させる機会に挑戦し、8月下旬から始まる“新人戦”（北部→県→関東→全国）に備えていきます！まさに、忍耐・努力・継続が試される時を迎えようとしています。いっそうの精進をし、秋には必ずや結果を出していきたいと思えます。